

技術仕様書

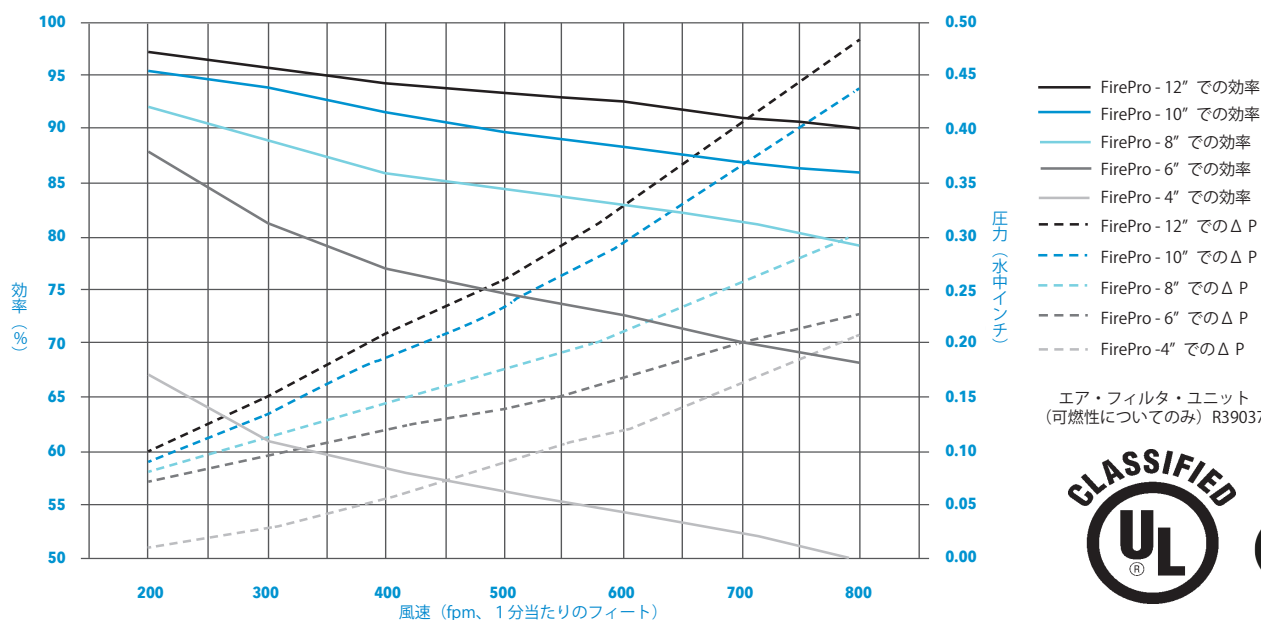
KUUL FIREPRO 気化メディア

7MM 45/15

消防法を遵守する必要があるなら、**Kuul FirePro™** 以外に選択肢はありません。この技術は、**Kuul®** 気化メディアの代名詞である優れた強度を提供するために強化された難燃性の無機材料で作られています。**FirePro** は、最も厳しい HVAC 環境の要求にも耐えるように設計されています。**FirePro** は、独自の材料組成により市場をリードする吸水特性と飽和効率を持っているため、素早い起動条件や需要の変化に迅速に対応できます。

Kuul 気化メディアは、厳選された材料、設計プロセス、独自の製造技法により、改善された冷却性能と圧力損失の低減を実現します。最高品質の材料のみ使用し、この製品ラインのすべてのコンポーネントを米国の生産設備で製造しています。

KUUL FIREPRO 気化メディア 7mm 45/15 気化効率と圧力損失



- ・ 上記の性能データは、要求される最も厳しい試験条件下で第三者機関により独自に試験され、検証されたものです。
- ・ 結果は、設置方法、メンテナンス方法、水質、湿度、周囲温度などの外的要因によって変わることがあります。
- ・ 上記の性能データは、最適な環境条件下で湿式メディアを使用した場合のものです。

詳しくは、
以下をご覧ください

www.thekuuleffect.com

Condair Group AG
Gwattstrasse 17, 8808 Pfäffikon SZ, Switzerland
電話: +41 55 416 61 11、ファックス: +41 55 588 00 07
www.condairgroup.com



技術仕様および設計情報

設計および最終的な設置要件については、下表を参照してください。

メディア密度	[lbs/ft ³]	乾式メディア = 1.29	湿式メディア = 5.14
乾式から湿式までの混水量	[gal/ft ³]	0.617	
キャリーオーバー前のメディアの最大風速	[fpm]	700	
ドロップレットエリミネータ（DE）を使用したメディアの最大風速	[fpm]	800（これより大きな値の場合は Kuul サポートにお問い合わせください）	
メディア単体の最大高さ	[in “]	78.75	
単一ヘッダあたりの最大システム高さ	[in “]	100（これより大きな値の場合は Kuul サポートにお問い合わせください）	
トップ・メディア表面積に対する推奨給水量	[gal/min/ft ²]	1.5（システムの高さが 100” を超える場合は Kuul サポートにお問い合わせください）	

- 最適なシステム設計の選択に関するご相談は、Kuul テクニカル・サポートまでお問い合わせください。
- Kuul は、お客様が選択されたシステム構成を最大限に生かすための設計相談を承っております。

メンテナンスと維持管理

FirePro メディアは、優れたウェット強度と化学安定性を発揮するように設計されています。以下の推奨事項は、システム内の水の再循環に関するものです。以下のパラメータのいずれも、記載された値を超えないようにシステムを制御する必要があります。これらのガイドラインは Kuul メディアにのみ有効です。その他のシステム・コンポーネントのパラメータの制限値がこれより厳しいかどうかを評価することは、設計エンジニアおよび／またはシステム事業者の責任です。

物理的および化学的パラメータ	
パラメータ	ガイドライン（特に別段の合意がない限り）
総アルカリ度（mg/L、CaCO3 として）	250 未満
カルシウム硬度（mg/L、CaCO3 として）	250 未満
塩化物（mg/L）	400 未満
導電率（uS/cm）	3000 未満
溶存鉄（mg/L、Fe として）	1 未満
pH（SU）	6.5 ～ 8.5
シリカ（mg/L、SiO2 として）	100 未満
ナトリウム（mg/L）	400 ² 未満
懸濁固形物（mg/L）	20 未満
殺生物剤	
遊離塩素（mg/L、Cl2 として） - 連続 - 定期ショック量	0.5 ～ 2.0 7 未満
過酸化水素 - 定期ショック量	グラスファイバー・メンテナンス・サービス・ガイドを参照
DBNPA	相溶性
イソチアゾロン	相溶性
プロノポール	相溶性
注：記載された値は、水温や年間稼働時間などのプロセス・データがない場合に提供するものであり、パラメータ間の相互作用を考慮した調整は行っていない。プロジェクト固有の水化学評価、または記載されたいずれかの制限値を超えると予測される場合は、Kuul エンジニアリングにご相談ください。	
ナトリウム型イオン交換（軟水化）を行った場合、硬度が下がるにつれてナトリウム濃度は上昇します。この処理プロセスを行う場合は、ナトリウム濃度の上昇を考慮する必要があります。	
未混合の逆浸透水、純水、または軟水をメディアと一緒に使用することは推奨しません。逆浸透水、純水、または軟水には、設計濃度でスケールがわずかに溶解するように、十分な量の給水を混合する必要があります。	

最適なシステム設計の選択に関するご相談は、Kuul サポートまでお問い合わせください。コンデアは、優れた材料の調達、最高品質基準での製造、および継続的な製品開発に取り組んでいます。最新の性能データについては、**Kuul®** の気化メディア専門家にお問い合わせください。

2024 年 6 月更新

詳しくは、
以下をご覧ください

www.thekuuleffect.com

